

退院後の生活を視野に入れた先進リハビリテーションの拠点

兵庫県立 西播磨総合リハビリテーションセンター



平成18年4月、兵庫県西部の豊かな自然に囲まれた播磨科学公園都市に、地域リハビリテーションシステムの中核としてオープンした「兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター」。12.6haの広大な土地に、リハビリテーション西播磨病院、研修交流センター、ふれあいスポーツ交流館の3施設が建ち並び、増大かつ多様化するリハビリテーションニーズに対応しています。

広報委員会では、平成19年12月19日、「機能回復の力強い味方」と評判の高い西播磨総合リハビリテーションセンターを訪問取材。リハビリテーション西播磨病院の横山和正院長に病院およびセンターの説明をしていただきました。

地域とともに歩むリハビリ専門病院

近年、高齢化、交通事故の増大などに伴い、リハビリテーションへの需要が増えているといわれます。

「脳卒中をはじめとする脳損傷、神経難病、運動器疾患、脊髄損傷など、リハビリを必要とする方々の疾病は多様化しています。当院では、県下の医療機関と密接な連携を図りながら、患者の早期帰宅を目指した先進的で個別化されたリハビリテーション医療を提供しています」と横山院長。「歩けるようになった」「社会復帰できた」「日常生活に困らなくなった」など、患者の感謝の声は枚挙に暇がありません。

MRI、CT、超音波診断装置、骨密度測定装置、筋電図・脳波計をはじめとする最新の医療機器を備え、高次脳機能障害など新しいリハビリテーション医療にも対応する同院。回復期病棟50床、障害者病棟50床の計100床を備える病棟は、木をふんだんに使った、まるでリゾートホテルのようなたたずまい。温かい雰囲気にあふれ、ここが病院であることを忘れてしまいう。診療部門、訓練室はすべて1階に位置し、広い廊下で病棟とつながっています。

「リハビリには、歩いたり動作の訓練を行う理学療法、主に手を使った日常生活訓練を行う作業療法、発声や言葉を取り戻す訓練を行う言語療法があります。当院では、それらに加え、

園芸療法や音楽療法と、多様なリハビリ療法を提供しているのが特徴です」。障害を負った人は意欲の低下やウツ状態に陥りがち。日常生活に近い自然な方法で情緒面を支援しているのが園芸および音楽療法。理学・作業療法以外の機会にも身体を動かすことが、身体面の機能訓練にもつながるとか。「リハビリは、なるべく早く、継続的に行うことが大切です」。

同院では、疾病・障害程度に応じて、入院から退院に至る診療を関係スタッフのチーム医療により、効率よく計画的に提供するために「クリニックパス」を作成。個々の患者に応じた目標の設定に沿ってリハビリテーションを実施していますが、その情報は日ごろから、医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・園芸療法士・音楽療法士・臨床心理士などが電子カルテを通じて共有。それぞれの分野でどのような診療が行われているかを把握しながら、各々診療を進めているのも特長の一つです。

「リハビリ期間は、疾病や状態にもよりますが、平均90日前後。院内に、ケータイやパソコンや理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師を配置した総合相談室を設け、入院中から家庭訪問を行うついでに家屋改造のアドバイスを行ったり、帰宅後に機能が低下していないか退院後の状態を把握する取り組みなどを行っています。また、退院後の患者さんの機

能を維持するための通院リハビリも検討しています」。

リハビリテーション西播磨病院の外来では、初期認知症診断などを受けることもでき、早期発見・早期治療につなげることが可能です。

最新の福祉用具の展示・住宅改造相談

先進性・先導性の高いリハビリテーション専門職の育成を行う研修交流センターでは、福祉用具等の最新情報発信・相談、地域交流活動なども展開しています。

モデルハウスを利用して、住宅改造相談に応じる福祉用具展示ホール「コムプラザ」。各種の福祉用具約500点も展示され、実際に見て、ふれて、試すことができます。屋外には車いす体験コースも設置。小・中・高校生をはじめとする体験学習に利用することができ

ます。また、リハビリテーション西播磨病院の入院患者や、地域で暮らす障害者・高齢者を対象とした各種の交流活動、リハビリテーションに関する公開講座などを実施しています。

スポーツを通じて障害者等の健康維持に寄与

バスケットボールコートが2面とれる体育館、各種マシントレーニング機器を

設置したトレーニングルーム、25m6コースの温水プールを備えた「ふれあいスポーツ交流館」。広く県民に施設を開放しているとともに、障害者・高齢者等の競技スポーツを通じた全県拠点施設として機能。年間延べ300日スポーツ教室を開講するなど、県下の障害者に対するスポーツの普及・振興、障害者等の健康維持・増進と自立・社会参加の促進、スポーツを通じた障害者・高齢者と地域住民・児童生徒との交流、予防的リハビリテーションの普及などに取り組んでいます。



DATA
西播磨総合リハビリテーションセンター
TEL: 0791-58-1050
http://www.hwc.or.jp/nishiharima/
JR相生駅から車で約20分、バスで約30分
(神姫バスSPring-8行き、西播磨総合リハセンター前下車)
播磨新宮駅からバスで約26分(神姫バス粒子線医療センター行き、西播磨総合リハセンター前下車)
姫路駅からバスで約60分(神姫バスSpring-8行き、西播磨総合リハセンター前下車)
山陽自動車道播磨ジャンクションから
播磨自動車道へ直結 播磨新宮ICから車で約6分



リハビリ施設 受付 病室 説明を受ける委員会メンバー 音楽療法

環境への取り組み、優秀な人材の育成を 協会がリーダーシップをとって 推し進めていたただきたいですね。

2007年も押し詰まった12月17日、本協会の神田武会長と、中條昌彦副会長が井戸敏三兵庫県知事を表敬訪問。新しい年の経済動向、今後10年の兵庫県づくり、空調衛生工業協会のあり方などについて、お話を伺わせていただきました。

2008年、県内の経済動向予測は製造業を中心に堅調な推移

2008年は十二支の始まりである子年に当たり、一からの出発の年だと考えますが、景気の動向はどうなるとお考えでしょうか？

井戸 設備投資が堅調な今までの延長で考えると、製造業を中心とする県内産業は底堅いと思っています。問題は、消費動向がどう変わっていくかです。若干の懸念材料は、石油価格の高騰に伴う原材料価格の値上げです。中小企業からすると、原材料費が上がったからといって簡単に価格に転嫁できない

ため収益が減る恐れがあります。もう一つは、ガソリンを筆頭に、原材料の高騰に伴って消費物資が値上がりし、消費を抑える可能性があるということです。

世界経済では、サブプライムローン問題に起因してアメリカ経済は弱含みに展開しているのではないかと思います。中国は、北京オリンピックを控え、活況を呈するのではないでしょう。

全体を見て不安材料がないわけではありませんが、製造業を中心に堅調に推移してくるのではないかと思います。

元気で安全安心な兵庫づくりを進め、つづき財政の立て直しを図りたい

知事は、参画と共同の兵庫県づくりを進めてこられました。が、これからの10年をどのようにお考えでしょうか？

井戸 これまでの12年間は、震災からの創造的復興が目標でした。そのための大きな財政負担が伴いました。これからの10年は、県から見ると財政再建の期間です。県民生活にあまり大きな影響を与えない中で財政を立て直すには、10年ぐらいの時間が必要だと思っています。そして、財政再建を進めながらという兵庫県づくりを目指すかということが、

大きな課題になるわけです。震災を乗り越えて新しい兵庫づくりのステージに入っている今、

私は「元気で安全安心」な兵庫をつくりたいと申しております。実は、震災復興の期間、全国の実質的な経済成長が14.7%なのに対し、我が県は4.5%と水をあけられています。全国に追いつき追い越せというのが、震災後の大きな課題ではないかというのがあります。もう一つは、大地震や台風23号など自然災害に見舞われたことを踏まえ、県土空間を安全安心なものにしていかねばなりません。この二つを大きな目標に掲げています。

元気で安全安心な兵庫をつくるためには、いくつかの視点が必

兵庫県知事 井戸 敏三氏

要です。第1は、産業・地域・人の元気を生み出すこと。第2は、生活の質を高めることだと考えます。2000年と2005年を比べると兵庫県の人口は増えてい

ます。世代別に見ると、全体が7000人増なのに対し、60歳以上が17000人増と、60歳以上が突出して増えています。これは、第二の人生を送るのに、兵庫県は環境が整っていると期待されているからだと思います。それにお応えするためにも、自然環境・住環境が整い、誰もが自己実現を果たし、質の高い生活を謳歌できる兵庫県をつくりたいと考え

ます。第3は、交流です。これまでは、定住人口を中心に考えてきましたが、これからは交流人口、つまり、昼間の人口を中心とするような施策を考え、兵庫県がモデルとなるようにしていきたいと思っています。第4は家庭と地域です。近年、家庭の力が落ちているといわれていますが、地域の人々との絆や支え合いの中で、家庭の力を強めていくようにしたいと考えます。この4つが、元気で安全安心な兵庫県をつくっていく上での重要な柱になると思っています。

快適な室内環境と省エネの両立に協会として積極的な取り組みを

安全な県土づくりという面



では、私たちも震災を機に「災害復旧支援体制」を構築し、23号台風の際などにお役に立てたと自負いたしております。ですが、これから、公益法人として協会はどのように進んでいけばよいでしょうか。

井戸 一つは環境だと思っています。室内における快適な環境を省エネでいかに維持していくかということが重要になってくると思います。環境面に対する指導や工法の開発が課題ではないでしょうか。もう一つは、人材養成ですね。建造だけでなく、メンテナンスに携わるにも、一定の技術力が求められるでしょうから。それと、業界全体の活動をどうバックアップしていくかも課題でしょう。もう一つ、協会でのような社会的な活動等に取り組みることができ

求められている品質の高さ、専門業者としての姿勢に期待

最近、量販店やドラッグストア

などの台頭で、薬屋、酒屋などといった専門店が減っているのははじめ、専門業者が世の中全体で減ってきているように感じます。私たち空調衛生工業界は、完全な専門業者です。我々は、もう一度専門業者としてのあり方を考えていかなければならないのではないかと思います。私は会員に、専門業者者を自負せよ、その上で環境問題などに取り組んでい

うと呼びかけていますが、現在の我々の業界に対してお気づきの点がございましたらお聞かせください。

井戸 建設業界は、躯体の建設業、空調衛生工業、電気工業内装業と、4分野の専門家が共同して携わっておられると認識しておりますが、実際には、ゼネコンが総合的に見ることも多いわけですね。それは、契約の仕方もあるかもしれません。今までは、大きな工事は、それぞれ発注するけれど、小さなものはまとめてという形態が多かったかもしれません。ですが、私は、将来的にはそれぞれ専門業者種にお願いする傾向が強まるのではないかと考えています。消費者の志向を見ますと、デパートは便利だけれど、本当に欲しいものは専門店という傾向が窺えます。便利さだけでなく、品質の高さが強く求められているのではないのでしょうか。そういう面では、専門性がさらに追及されていくと思

います。また、空調衛生工業界にも企業格差があると思

しながら協力し合うのかを考える必要もありますね。業界全体として力をつけていくことも必要ではないでしょうか。そういう意味で、空調衛生工業協会がコーディネーターとして力を発揮されることを求められているのではないかと

思います。今後も、会長のバイタリティーで、素晴らしい協会活動を展開されることを期待しています。

我々も、単なる下請けでなく、専門業者としてニーズに添えていきたいと思



病院らしくない病院で切らずに治す最先端のがん治療

兵庫県立粒子線医療センター



昭和56年以来、日本人の死亡原因1位を占める“がん”。その後も年々増え続け、現在では年間約50万人のがん患者が発生しているといわれています。がんの治療には大きく分けて、手術、化学療法、放射線治療の3つがあり、病気の性質や進行期によって3つの内から1つ、あるいは組み合わせてもっとも適した治療法が選ばれます。

粒子線治療は、放射線治療の一種ですが、従来の放射線治療で用いられるX線と比較してがん治療に優れた特徴をもち、身体に優しい治療法です。がんに対して集中的に照射でき、手術と同様の根治性が得られる治療法で、近年注目を集めています。

広報委員会では、平成13年に播磨公園科学都市に誕生した「兵庫県立粒子線医療センター」を訪問。粒子線治療の現状や利点などについて、菱川良夫院長からお話を伺いました。

陽子線と炭素線を使用する世界唯一の施設

「心筋梗塞や脳梗塞の場合、一刻を争いますので患者に治療法を選ぶ余裕はありませんが、がんの場合は考える時間があります。がんは最初にどのような治療を受けるかが大切。情報を集め、納得のいく治療を受けてください」と、粒子線治療でがん治療の改善を目指す県立粒子線医療センターの菱川院長。

粒子線とは、電子、水素イオン（陽子）、炭素イオン、中性子などの粒子の流れのことと、電子線、陽子線、炭素線、中性子線などがあります。その内の陽子線と炭素線を用いた治療が「粒子線治療」と呼ばれていますが、粒子線治療を行っている施設のほとんどが行っているのは陽子線治療。「当センターは、陽子線と炭素線の両方が使用できる世界で唯一の施設です。がんの種類によってより効果が期待でき、しかも患者さんに優しい粒子線を選んで使っています」。

X線、ガンマ線など従来の放射線で照射治療を行うと、身体表面に近いところに多くの放射線が照射され、病巣に届くまでに減弱します。それに対し粒子線は、ある深さにおいて放射線量がピークになる特性（ブラッグ・ピーク）をもちます。がん病巣の広がりや深さとブラッグ・ピークを合わせることで、病巣に多くの放射線を照射することができます。また、病巣より深いところにはほとんど放射線が達しませんから、がん病巣後方の正常な

組織に対する障害を最小限に止めながら治療することができます。そのため、他の機能に障害を与えない、高齢者でも安全に治療が受けられる、放射線障害の可能性が低いなどの利点があります。

粒子線には得意・不得意がある

「粒子線治療は病巣が一定の範囲に収まっている遠隔転移のない局所治療に適しています。放射線を照射することで粘膜に潰瘍が起きやすい胃腸は、一般的には治療対象となりません。胆嚢がんや胆管がんも消化管が接近しているため粒子線治療が困難です。膀胱がんや悪性リンパ腫、複数のリンパ節転移のある進行性肺がんなども広い範囲への照射が必要で、粒子線治療が難しいがんです。このように、粒子線治療はどんながんにも適応するわけではありません」。

現在、粒子線治療に向いていると考えられるがんは、頭頸部（鼻腔や副鼻腔、中咽頭、唾液腺、頭蓋底など。喉頭がんを除く）、肺、肝臓、前立腺、直腸がん術後局所再発、骨軟部腫瘍の原発性がん、単発性の転移性腫瘍。「当センターでは、このほか、喉がん術前、腎がん、子宮がん、陰がんなどにも対応しています。ただし、対象疾患でも粒子線治療が適当でない場合もあります。他の放射線治療や抗がん剤治療と併用することもできません。また、他の治療法と同様に再発の可能性もあります」。

粒子線治療を受けるには、患者本人が

病名・病状や他の治療法の選択肢についても告知を受けており、自分の意志で粒子線治療を受けることに同意していることが必須。全身状態としては、主要臓器の機能が保たれていて、約30分の粒子線治療時間仰向けでじっとしていられることが必要となります。

通院治療が可能、社会復帰も速やか

粒子線治療を受けるためには、かかりつけの病院などで必要な検査を受け、主治医の先生から所定の書類を提出していただくことが必要です。その後、同センターから主治医の先生に連絡があり、センターで初診を受けることとなります。インフォームド・コンセントを経て治療開始日が決定。粒子線治療計画のために1週間入院し、CT、MRIなどの検査を受けます。その間に、医師・放射線技師・医学物理士は検査結果やデータに基づいて治療計画を立て、いよいよ治療にかかります。治療は外来通院で受けることもできます。治療後はすぐにPETで写真を撮り、治療経過の確認を行います。

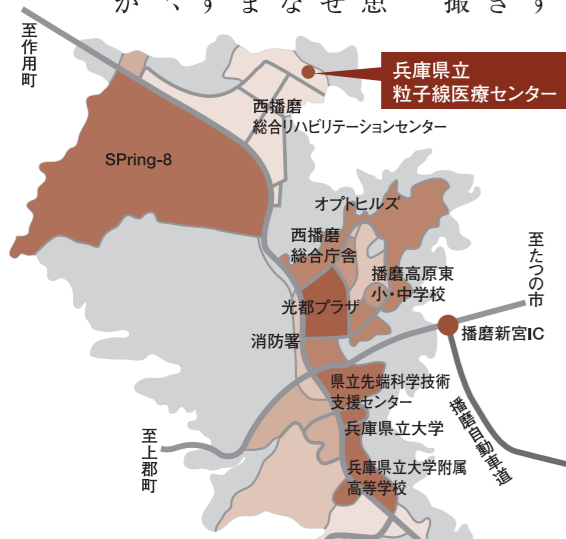
「当センターは病院らしくない病院で、患者さんは、バジヤマで過ごす必要があります。治療期間中もゴルフやテニスを楽しむなど、普段どおりの生活を行っていただけます。ただし、禁酒禁煙は守っていただきます。また、スケジュールどおりに治療が進み、治療後に養生をする必要があります。すぐに社会復帰していただけます」。

治療終了後は、紹介元の病院で検査等を受け、その結果はセンターに報告されます。「主治医とともに経過観察を行い、必要な場合には外来受診をお願いしています」。

先進医療保険が適用

粒子線治療は、厚生労働大臣より先進医療の承認を受けています。そのため、治療費288万3000円は全額自己負担となりますが、一部の民間保険会社では特約があるようです。入院費・検査費については健康保険が適用されます。

また、県では、治療費を一時に支払うことが困難な県民に対し、粒子線治療の貸付制度を設けています。無利子で、償還期間は原則5年となっています。詳しくは、同センター総務課にお問い合わせください。



DATA
 兵庫県立粒子線医療センター
 TEL: 0791-58-0100
 http://www.hibmc.shingu.hyogo.jp/

JR 新幹線・山陽本線相生駅から車で約20分
 新幹線・山陽本線姫路駅から車で約45分

車 中国自動車道山崎ICから約35分
 中国自動車道佐用ICから約20分
 山陽自動車道龍野西ICから約25分
 山陽自動車道播磨JCTから播磨自動車道へ直結、播磨新宮IC(都市隣接)より車で約6分

バス JR相生駅から35分
 神姫バスSPRING-8行乗車
 「粒子線医療センター」下車すぐ



粒子線加速器 説明を受ける委員会メンバー 粒子線医療センター全体模型 説明を受ける委員会メンバー 粒子線治療室 ガントリー本体

平成19年度 安全衛生大会

日時 平成19年10月19日(金)
場所 ラッセホール



平成19年10月19日(金)、兵庫県県土整備部整備課長・高田弘志氏、兵庫労働局労働衛生課主任労働衛生専門官・林修氏ご出席のもと、神戸市中央区のラッセホールにおいて、平成19年度安全衛生大会を開催。第1部では、林専門官から「労働安全衛生講話」を伺い、第2部では、ヴィッセル神戸の黒田和生氏に特別講演いただきました。

労働安全衛生講話(要点)



兵庫労働局労働衛生課主任労働衛生専門官 林 修 氏

労働衛生対策の目標は、職場における労働者の健康を確保するとともに、職場環境の快適化を促進することにあります。

業務を原因とする疾病の発生件数を見ますと、長期的には減少傾向にありますが、近年はほぼ横ばいです。疾病の内訳は、災害性腰痛が大きな割合を占め、塵肺、熱中症が続いています。また、業務に原因があると考えられる脳血管障害や虚血性心疾患といった、いわゆる過労死事案の労災認定件数も年間約300件という高い水準で推移しています。さらに、自殺者は、リストラの嵐が吹き荒れた平成9～10年に急増し、その後も年間3万人を超える状況が続いています。県では、過労死や自殺とも関連する過重労働およびメンタルヘル스에軸足を置き、対策に取り組んでいます。時間外労働時間が長くなるほど、血

管障害等のリスクは高くなります。過重労働による健康障害を防止するために事業者が講ずべき措置は、①時間外休日労働時間の削減等、労働時間の適切な管理、②健康管理体制の整備・健康診断の実施、③長時間労働者に対する面接指導の実施などが挙げられます。

職場におけるメンタルヘルスに関しては、次のような対策が望まれます。

- ①セルフケア／睡眠障害、食欲低下、意欲低下、作業能力の低下などの症状を感じたり自分でおかしいと思ったら、早めに専門医の診療を受ける。
- ②ラインによるケア／遅刻・早退・欠勤が増えた、仕事の能率が低下した、表情に活気がないなど、いつもと違う部下や同僚の様子を感じたら、さりげなく受診を勧める。
- ③職場環境等の改善／過大あるいは過小な仕事の負荷を



避ける、長時間労働を避ける、仕事上の役割や責任を明確にする、上司や同僚による支援や相互の交流機会を増やす、職場の意思決定に参加する機会を設ける、昇進や将来の技能獲得の機会を明確にする、換気・照明・騒音・温熱を改善するなどを行い、ストレス要因の軽減に努める。

それぞれの職場で何が危険かを見つけ、対策を立てるために、リスクアセスメントを講じることが必要です。危険性や有害性を特定し、それが原因で生じる恐れのある負傷や疾病の重篤度と、その災害が発生する可能性を組み合わせるリスクを見積もります。そして、リスクの大きさに基づいて対策の優先度を決めた上でリスクの除去または軽減の措置を検討し、その結果を記録する。この一連の手法がリスクアセスメントで、これによって検討された措置を安全衛生計画に盛り込み、計画に実施することが大切です。

特別講演 「大きな活力を生む 連係プレーの重要性」(要点)



ヴィッセル神戸普及育成本部長 黒田 和生 氏

私は、サッカーの指導を35年つづけて

おり、サッカーからいろいろなことを学びました。そして、やればやるほどサッカーの奥深さを実感しています。日本では、サッカーの人気は野球に太刀打ちできません。野球の牙城に少しでも食い込み、何とか野球と肩を並べるようにしたいと、チャレンジを行っているところですが、そのためには、強くなければなりません。強くなるためには良い選手を育てる必要があります。その土壌を耕すことが大切です。昨年まで滝川第二高校で教鞭を執るとともにサッカー部の監督を務め、4月より縁あつてヴィッセル神戸で普及育成に当たることになりました。これから伸びていく青少年の担当です。時間はかかるかもしれませんが、サッカーの魅力普及に努め、若手育成の環境整備に努めたいと思っています。

サッカーは一人ではできないスポーツです。11人の選手以外にも、補欠、補欠に入れないメンバーもいます。それら全員が力を合わせたとき、大きな力を発揮できると思います。それがチームプレーの素晴らしさだと思っています。

サッカーの面白さは、大きく分けると次の4つです。

- ①得点が入らない／ゴールキーパーの技術が進歩したとともに、相手選手が身体を張ってゴールを守りますから、そう易々得点することはできません。その攻防が見どころともなっています。
- ②ゴールの感動／得点しにくいだけに、ゴールが入った時の感動は格別です。得

点の3割はコーナーキック、フリーキックなどセットプレーから生まれます。4割は速攻、残り3割はリズム良くつなげた時に生まれます。

③ポジショニングの自由性／ポジショニングに決まりはなく、どこに動いてもかまいません。相手が面食らうようなポジショニングを取って相手のリズムを崩すことも可能です。ポジショニングを巡る駆け引きの面白さもあります。最も美しいのは、人とボールが一体となり、リズム良く連動する様で、両チームが連動し躍動しているゲームはカッコイイものです。

④フェアプレイの精神／駆け引きはありますが、アンフェアなプレイはゲームをつまらなくします。フェアプレイの精神が守られることを期待しています。

私は、滝川第二高校で23年間サッカー部の監督を務めました。最初は成果が上がりませんでした。成績を上げるのは、実は、難しいことではなかったのです。14



講演後、黒田氏より、大久保選手サイン入りの、公式ボール、色紙、ミニボール、公式ユニホームが抽選でプレゼントされました。